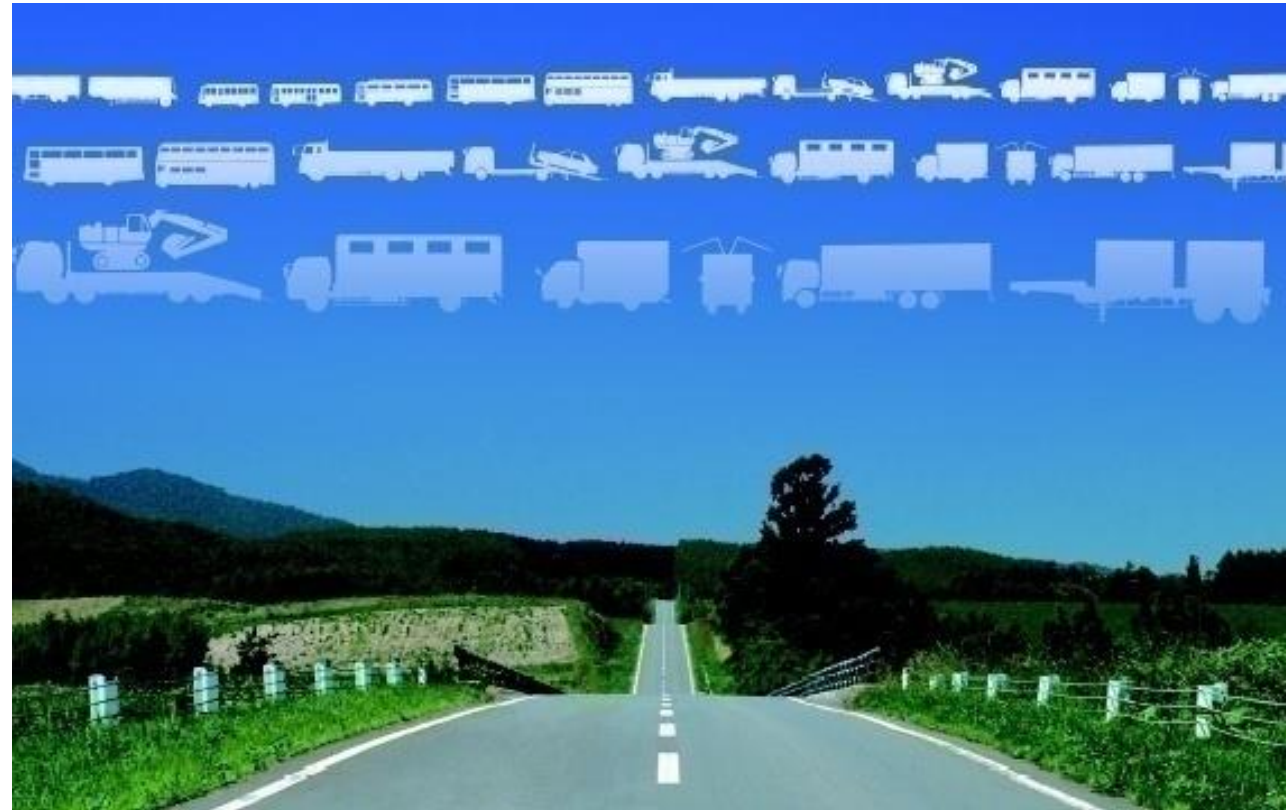


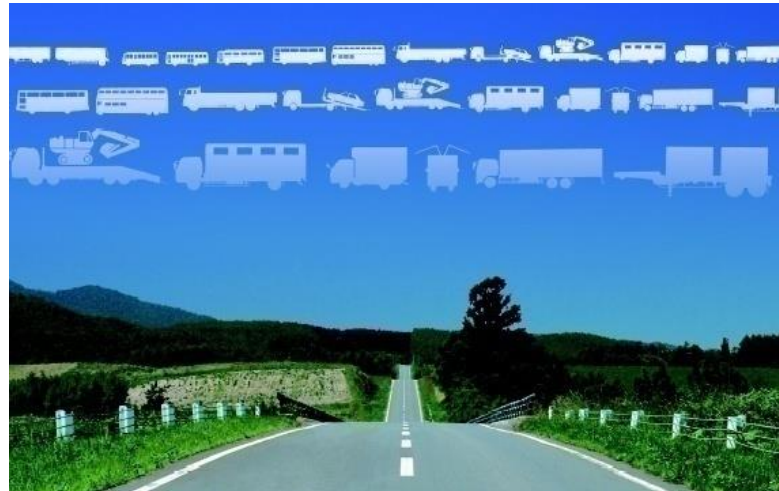
2024年度 通常総会



(一社)日本自動車車体工業会 2024年5月24日

第1号議案・第3号議案

2023年度事業報告・2024年度事業計画



1. 取り巻く環境1 経済状況

世界

- ・コロナ禍終息の一方でロシアの**ウクライナ侵攻**継続、**中東紛争**
- ・IMF世界経済見通し：2024年**3.2%**(2000～19年平均3.8%)
- ・**不安定な国際情勢**による商品価格高騰等下振れリスクあり

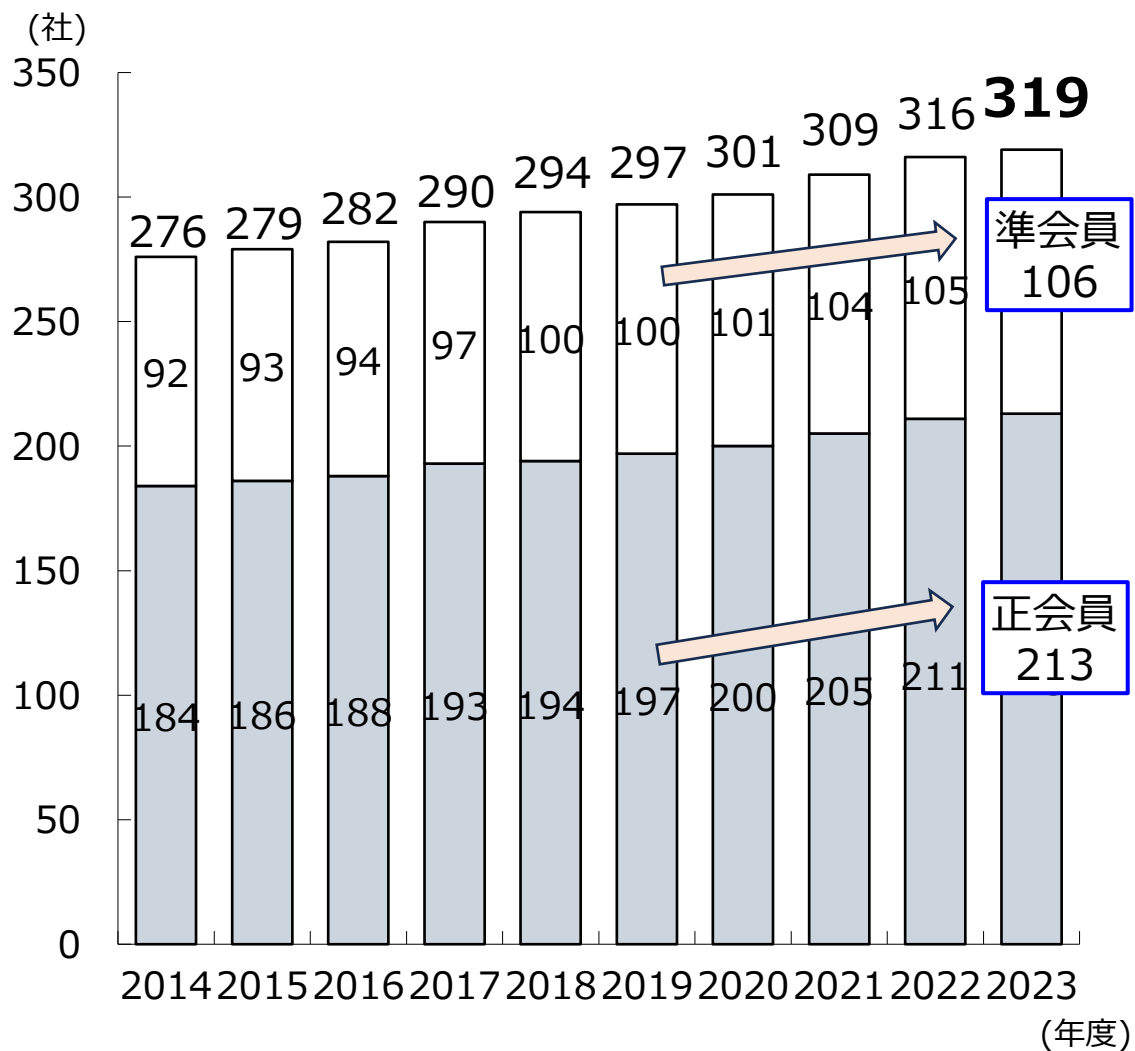
日本

- ・過去最高の**賃上げ**や国内投資等**成長型経済**への転換局面
- ・コロナ禍時の過剰貯蓄取り崩しや雇用環境改善により**内需拡大**
- ・**物価高**による節約志向や人手不足による**供給制約**等下振れリスクあり

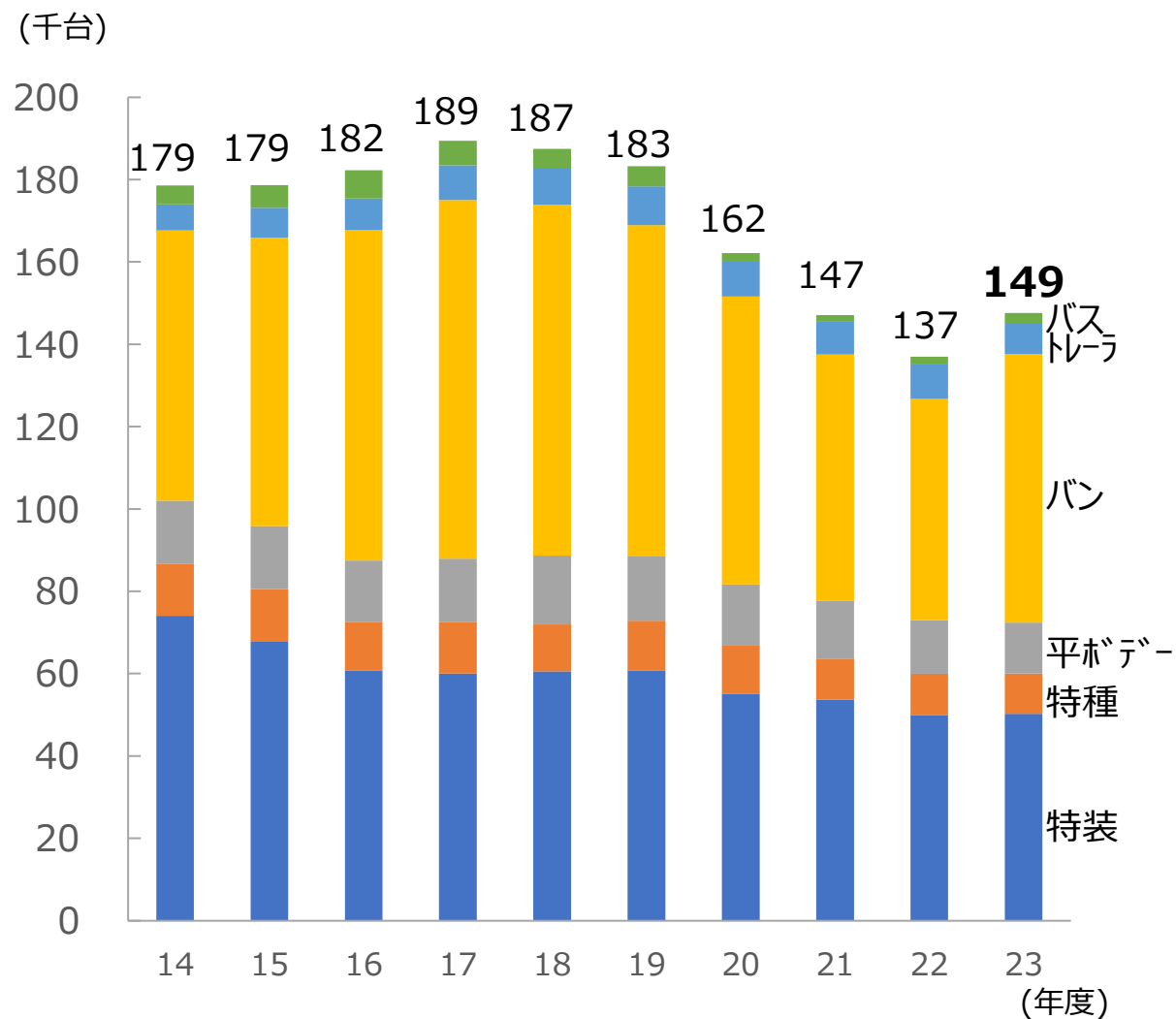
市場	<ul style="list-style-type: none">・2023年度：商用車(貨物＋大型バス)350千台（前年度100.7%） 大中小型貨物はシャシー供給回復等もあり、67.6千台（同123%）・2024年度：内需拡大を受け緩やかな回復継続
商用車市場内のポイント	<ul style="list-style-type: none">・貨物自動車輸送量は2024年度は横這いの見通し・運送事業者の景況感は改善傾向・2024年問題：運送業者の利益減少・労働力不足等課題顕在化・2024年より開始：OBD検査(1月)、自動車燃費性能表示(10月)

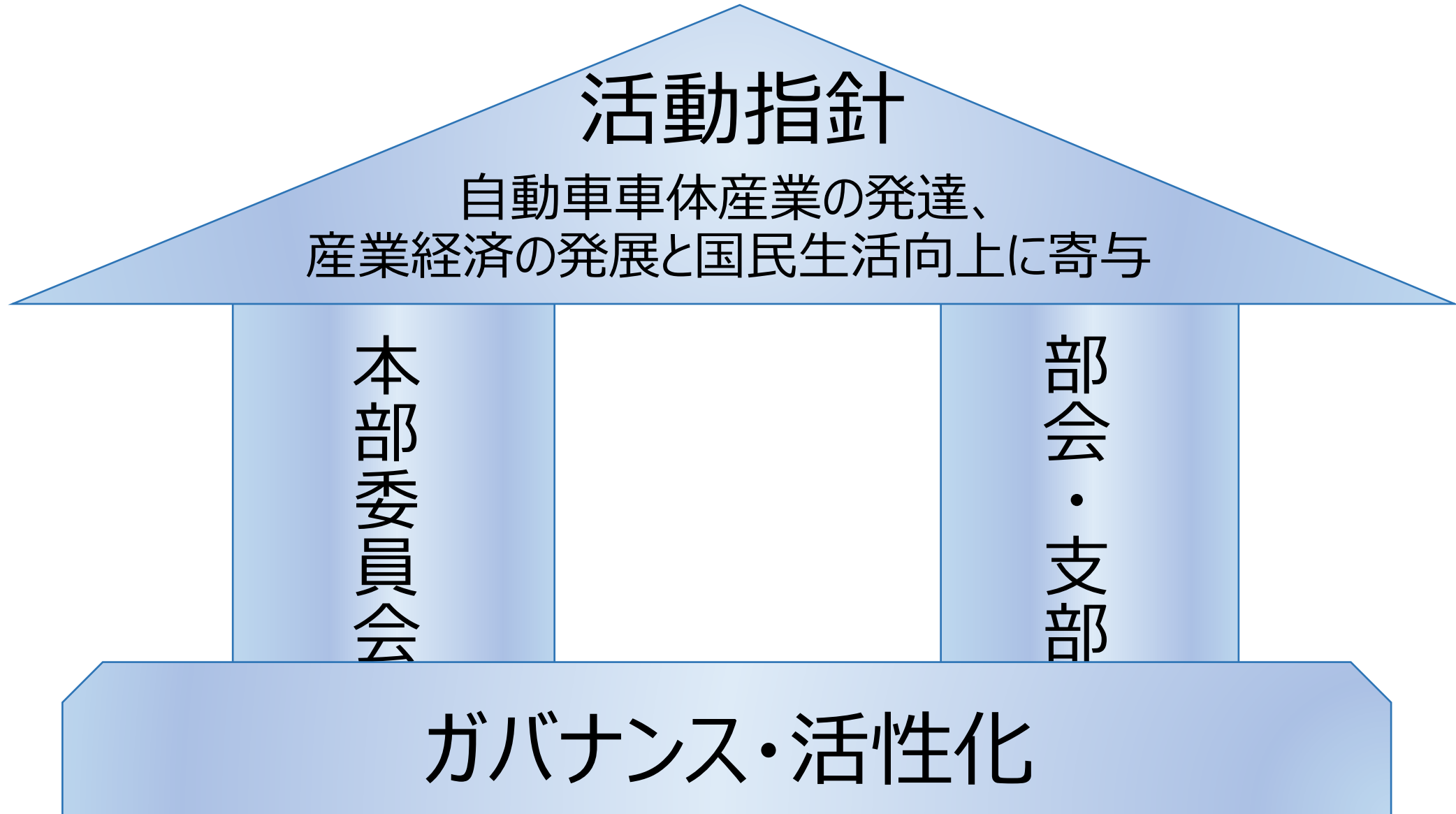
1. 取り巻く環境3 会員の状況

<会員数>



<生産台数(非量産)>





2. 車体工業会の取組み2 組織別対応一覧

	本部委員会					部会・支部	事務局
	CN 専門	中央技術	環境	中央業務等	広報		
①カーボンニュートラル(CN)	◎	○	◎	○	○	○	○
②安全への取組み		◎		○		○	○
③環境への取組み			◎			○	○
④中小企業支援活動				◎		○	○
⑤活性化活動				◎	◎	◎	○
⑥ガバナンス強化 ・業務効率化	○	○	○	○	○	○	◎

3. 2023年度実績・2024年度取組み ①CN

23年度
実績

- ・本部委員会主導に移行、各委員会の活動内容をCN専門委で確認
- ・勉強会：実践編7回、入門編動画公開

=車工会HP CN入門編動画 表紙=



24年度
新規

- ・CN活動への理解促進のための仕掛けを先導
 - 1)困りごと・未着手会員への対応：中央業務委員会
 - 2)環境委員会WG活動 ⇒ 部会(支部)との一体活動

<p>23年度 実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法規対応 <ul style="list-style-type: none"> 1)後退時車両直後確認装置 (R158) 2)車両後退通報装置 (R165) 3)大型車事故情報計測・記録装置 (R169HDV-EDR) 4)CS/SUコネクテッド検討WG ・調査研究 <ul style="list-style-type: none"> 1)新JABIAリベット制度運用 2)再帰反射材グレア研究(資材) ・先進技術 <ul style="list-style-type: none"> 1)商用車電動化：高電圧法令対応会員展開済
<p>24年度 新規</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音声アラームに関する調査研究(中央)

=支援WG訪問@(株)いそのホ`テ`=

- ・環境ラベル取得訪問支援
- ・CO2排出量調査
- ・CNのWG活動 1)分析WG 2)支援WG
 3)事例WG 4)LCA WG
- ・産業廃棄物最終処分量調査





23年度
実績

24年度
新規

- ・環境ラベルJABIA規格改定
- ・環境対応事例発表会（隔年）
- ・産廃新規会員へのフォロー

3. 2023年度実績・2024年度取組み ④ 中小企業支援活動

23 年度 実績	中央業務 委員会	・外国人技能実習制度改正：自工会・部工会共同で検討中	
	中小会員 ネットワーク強化 WG	・訪問ヒアリング：工場見学＋採用情報交換等 ・営業マン勉強会：「2024年問題」のチーム討議	=営業マン工場見学会@札幌ホテ-工業(株)= 
	安全衛生	・災害事例の展開	=技能系社員研修@トヨタ車体(株) 高所からのぶら下がり体感訓練=
	技能系社員 研修	・3回開催	
24年度新規		・CN 困りごと、及び未着手会員対応	

23年度
実績

- ・HP閲覧停止対応、保守管理強化
- ・カーボンニュートラルへの取組み
 - 1)委員会メンバー会社事例のHP展開
 - 2)HPの閲覧頻度向上施策検討

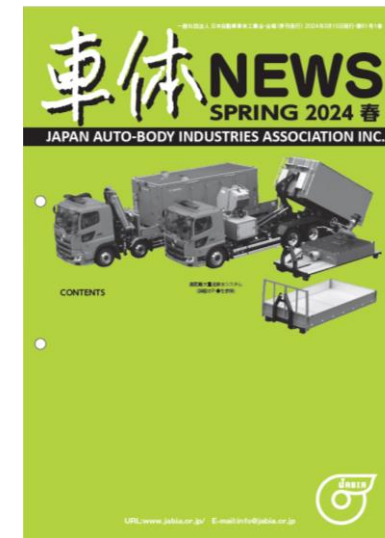
=車工会HP CNページ=







24年度
新規

- ・機関誌「車体NEWS」の見直し
 - ー配布部数(CN観点)
 - ーデジタル化

=車体NEWS
2024年春号=

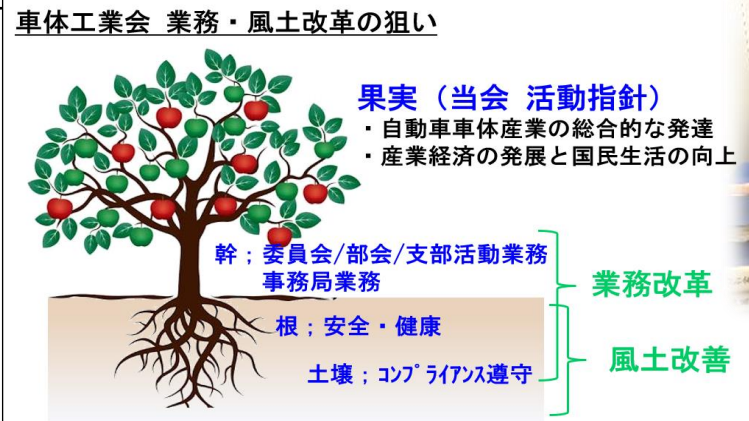


<p>23年度 実績</p>	<p>部会 共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 <ul style="list-style-type: none"> － 総会、役員会、委員会、工場見学会等 － リコール情報 ・ 法規対応、規格化・共通化 ・ アフターセールス情報展開 	<p>=特種部会工場見学会@フジタ自動車工業(株)=</p> 
	<p>他団体 連携の 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車技術総合機構との検討会(特種) ・ トラック協会でのトレーラ講習会(トレーラ) 	<p>=トレーラ講習会@宮城県トラック協会=</p> 
<p>24年度 新規</p>	<p>部会 共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ CN 取組み (本部委員会と一体活動) 	

23年度 実績	支部 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 <ul style="list-style-type: none"> －総会、役員会、工場見学会、研修会 ・安全への取組み－不正改造排除運動 	<p>=近畿支部研修会@日本カハ-7(株)=</p> 
	特徴的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・CN勉強会（中部、近畿、新潟、九州） ・支部間交流会（中部&中国） 	<p>=中部支部CN勉強会@岐阜車体工業(株)=</p> 
24年度 新規	支部 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・CN勉強会 （本部委員会と一体活動） 	

23年度
実績

- ・狙い&ビジョンを定義
 - ・基盤固めを中心に活動
- キーワード；
見える化、目的の明確化
意識(風土)と仕組み、デジタル技術



24年度
新規

- ・部会・支部を含めた
ガバナンス体制の構築
- ・業務改革による余力の創出、
高付加価値業務へシフト

車体工業会中期ビジョン(基盤強化&活性化に向けて)

果实； (当会 活動指針)		当会活動指針へ貢献	
幹； 部会/委員会 事務局業務	より付加価値の高い業務 現在の業務	CNの推進	より付加価値の高い業務へシフト **
根；安全・健康		見える化 工数・業務項目 講演会	業務改革(余力を創る) 全員が取組める 自発的に取組める
土壌；コンプライアンス遵守 SDGs		デジタル化 Teams VBA	デジタル化 **
		仕組みの見直し 就業規則 整理整頓 労務管理	風土化 **
		経理業務 予算見直し 健康管理	**
		コンプライアンス教育 定年(1名)	** 再雇用終了(1名)
		23年度 (基盤固め)	24年度 (高付加価値業務へシフト)
			25年度~ (更なる活性化)

ジャパンモビリティショー

10月26日～11月5日(11日間)@東京ビッグサイト
会員展示 **10社**
集客イベント **JABIAサーキット**



ペイント風景



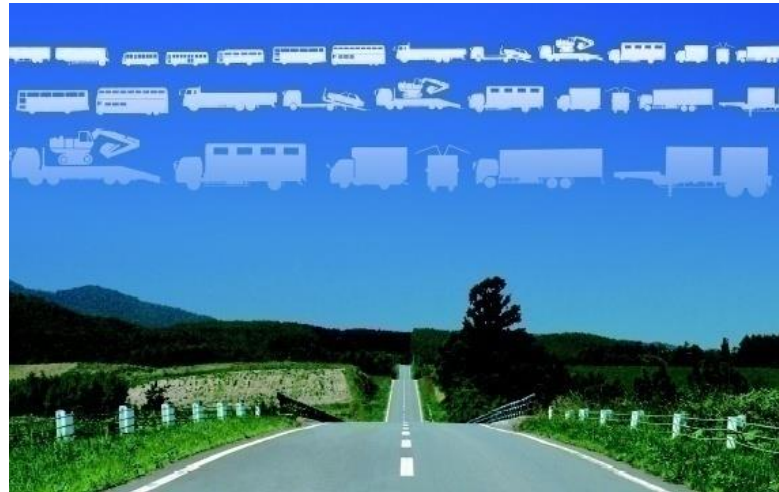
展示10社@屋外展示場



動画

第2号議案・第4号議案

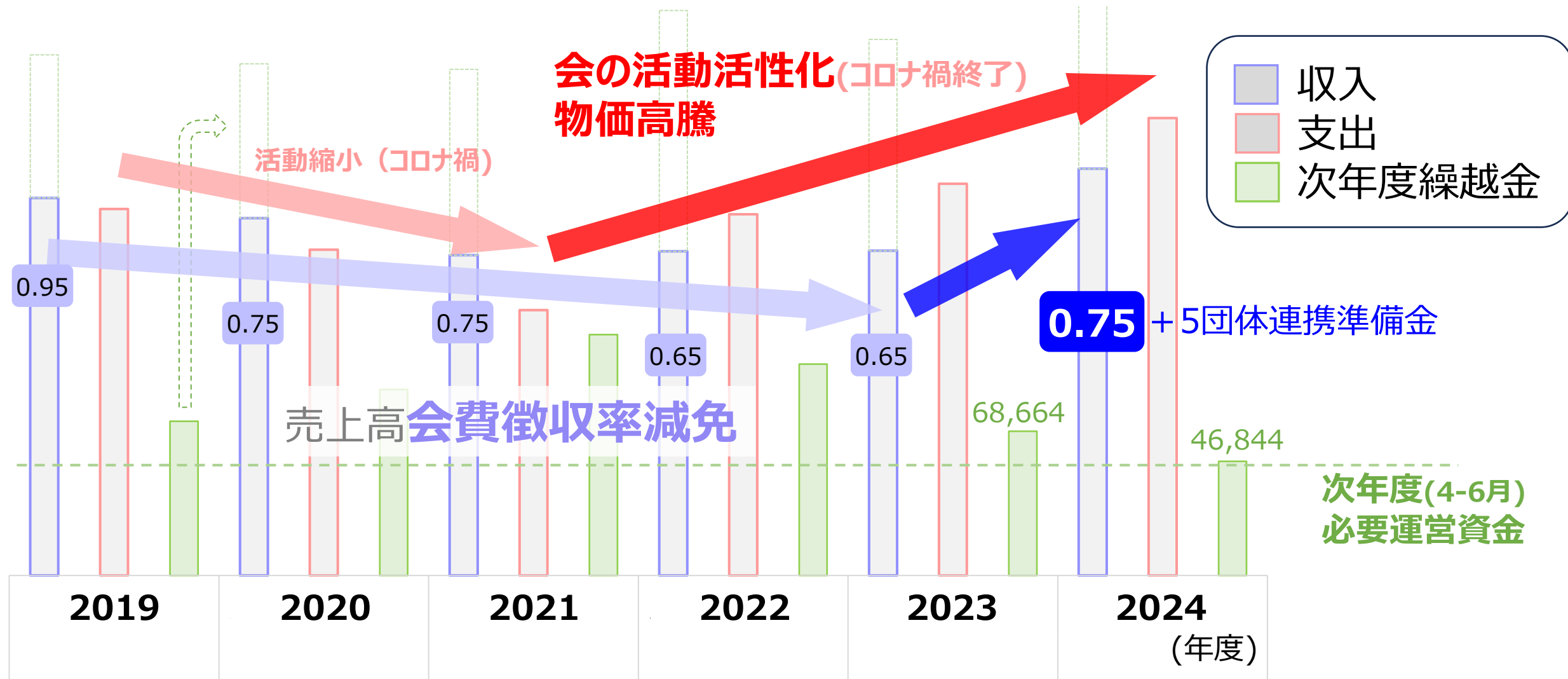
2023年度決算報告・2024年度収支予算(案)



2023年度決算・2024年度予算(案)

		2023年度		2024年度	
		予算	決算	予算(案)	主な増減要因
収入	会費	120,634	120,711	131,753	売上高会費徴収率0.75
	繰入金	2,905	5,467	20,000	5団体連携準備金の繰入
	前年度繰越金・他	99,823	100,508	82,130	繰越金減
	計	223,362	226,686	233,882	
支出	事業費	121,620	106,132	128,059	CN現地支援拡充 外国人技能実習制度 改正対応
	管理費	26,707	24,737	30,155	総会等の費用 (物価高騰)
	人件費	22,192	20,153	22,824	昇給等
	積立金	7,000	7,000	6,000	JMS積立額見直し
	計	177,518	158,022	187,038	
収支(次年度繰越金)		45,844	68,664	46,844	

会費 (売上高会費徴収率) 見直しについて



売上高会費徴収率の見直し(0.65⇒0.75) + 5団体連携準備金繰入

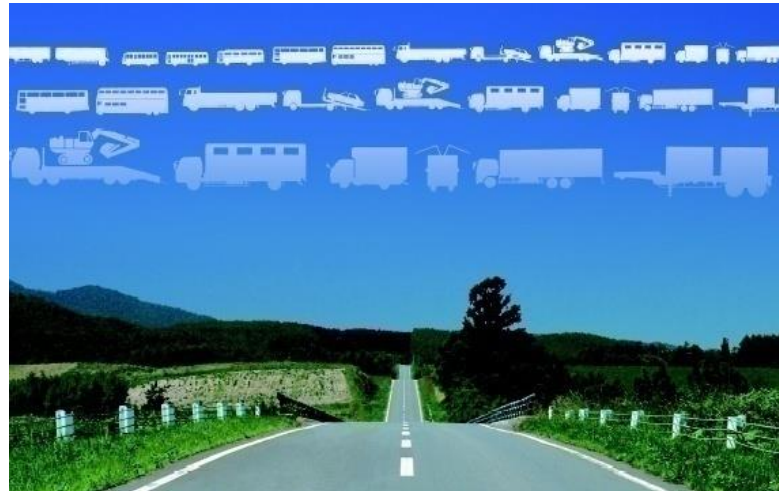
正味財産増減計算書

(円)

		2022年度	2023年度	増減	
一般正味財産	経常増減	経常収益	134,191,559	131,749,489	△ 2,442,070
		経常費用	123,792,578	144,947,871	21,155,293
	経常外増減	経常外収益	0	0	0
		経常外費用	11,700,000	3,119,222	8,580,778
	当期 増減額		△ 1,301,019	△ 16,317,604	△ 15,016,585
	期首残高		204,081,568	202,780,549	△ 1,301,019
	期末残高		202,780,549	186,462,945	△ 16,317,604
正味財産 期末残高		202,780,549	186,462,945	△ 16,317,604	

第5号議案

役員改選に関する件



新任理事

特装部会

大久保

淳

(前任 ; -)

トレーラ部会

富田

政行

(前任 ; 辻 和弘)

バス部会

藤岡

佳一郎

(前任 ; 石川 哲朗)

新潟支部

丸山

正範

(前任 ; 北村 守)

関東支部

星

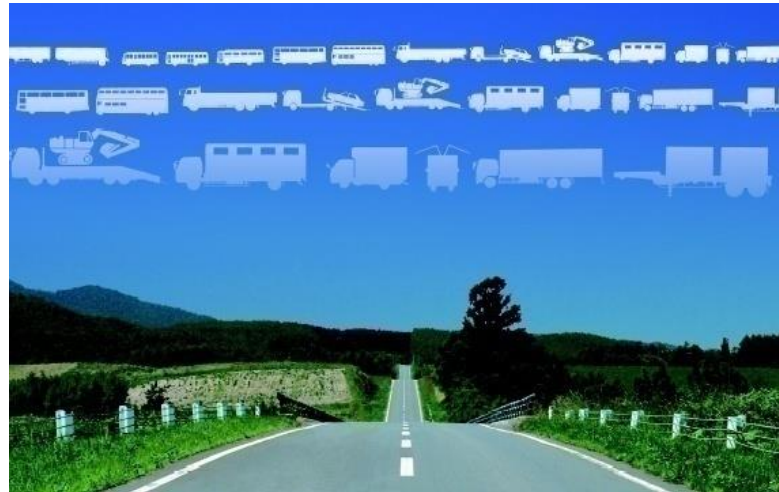
浩由

(前任 ; 矢島 廣一)

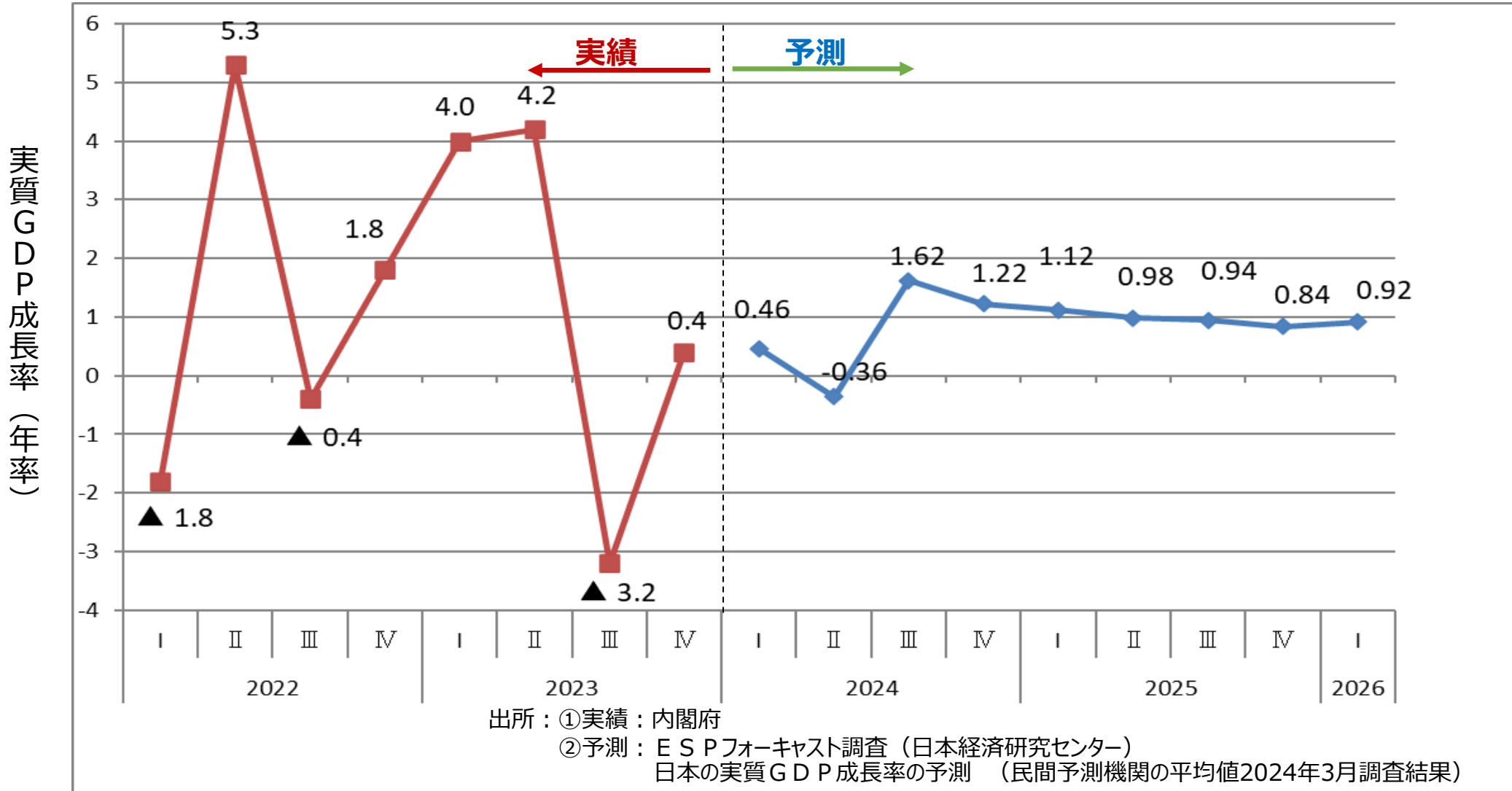
議案	内容
第1号議案	2023年度 事業報告
第2号議案	2023年度 収支決算報告
第3号議案	2024年度 事業計画 (案)
第4号議案	2024年度 収支予算 (案)
第5号議案	2024年度 役員改選 (案)

補足資料

取り巻く環境 データ編

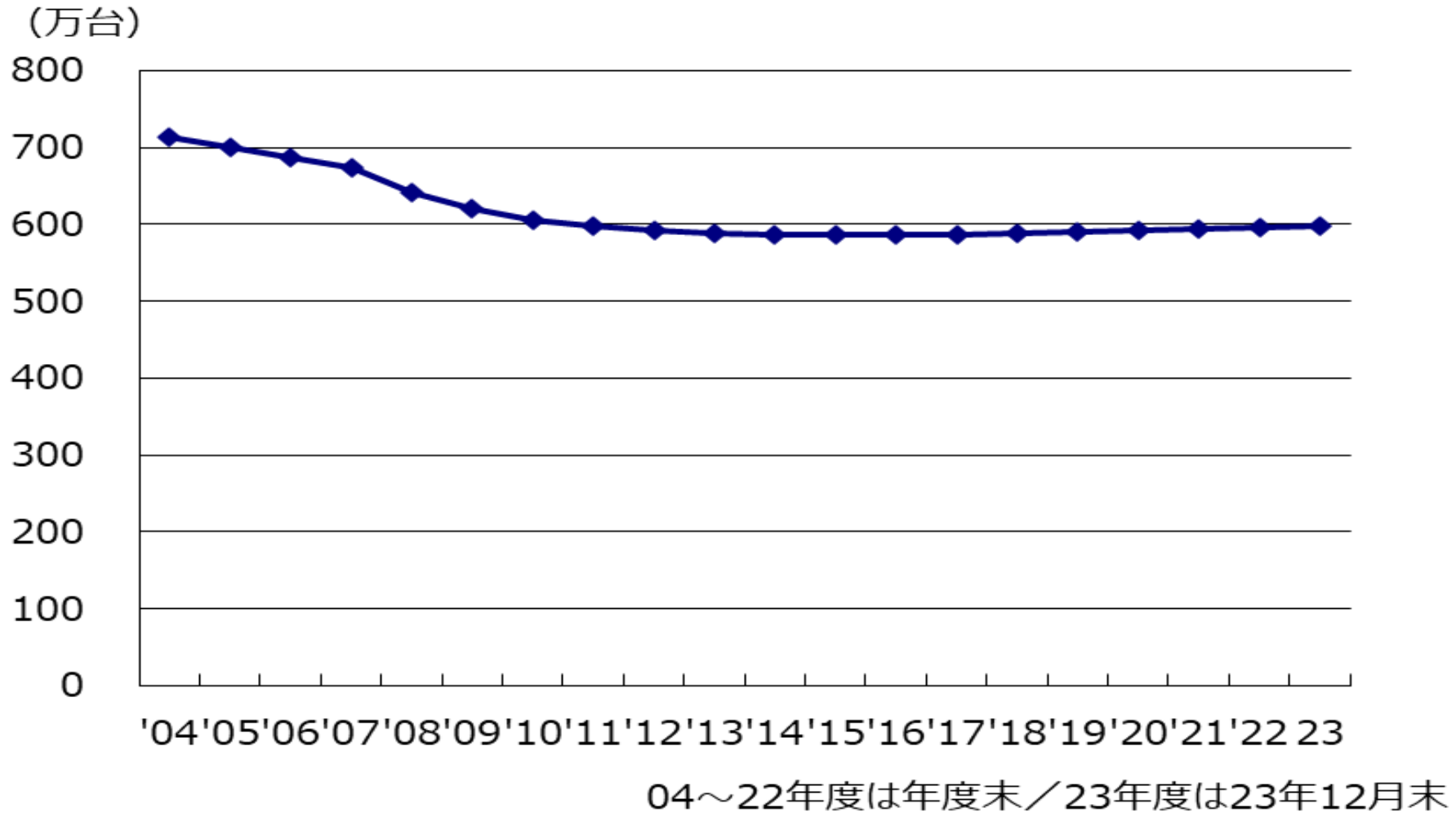


1. GDP成長率



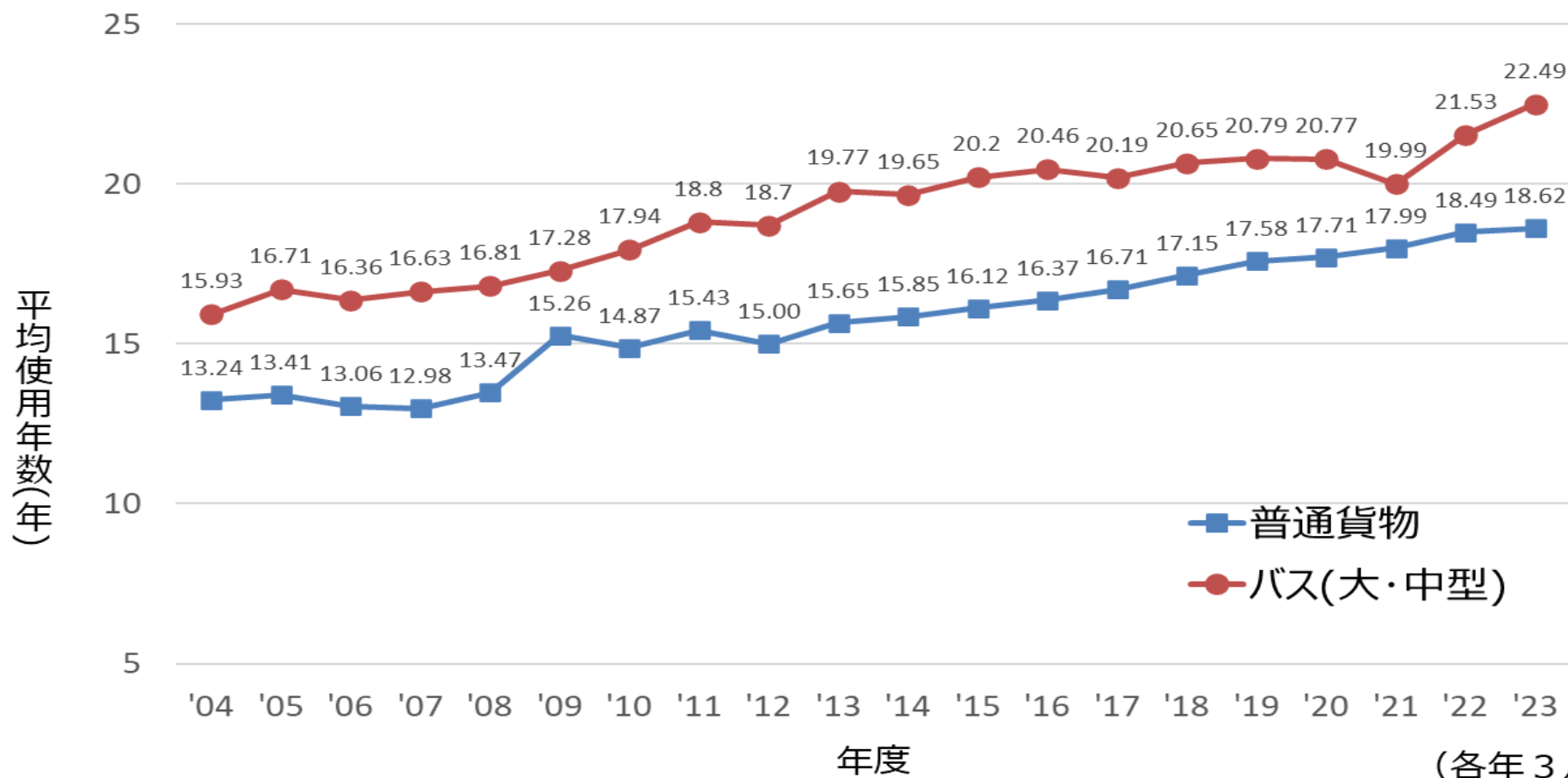
2024年IV期以降はプラス1%程度で推移する予測

2. 貨物車保有台数（普通＋小型）



- ・04年度以降、減少が継続し、2011年度以降は600万台割れ
- ・16年度以降は増加に転じ、2023年度は12月時点で前年比約2.4万台増

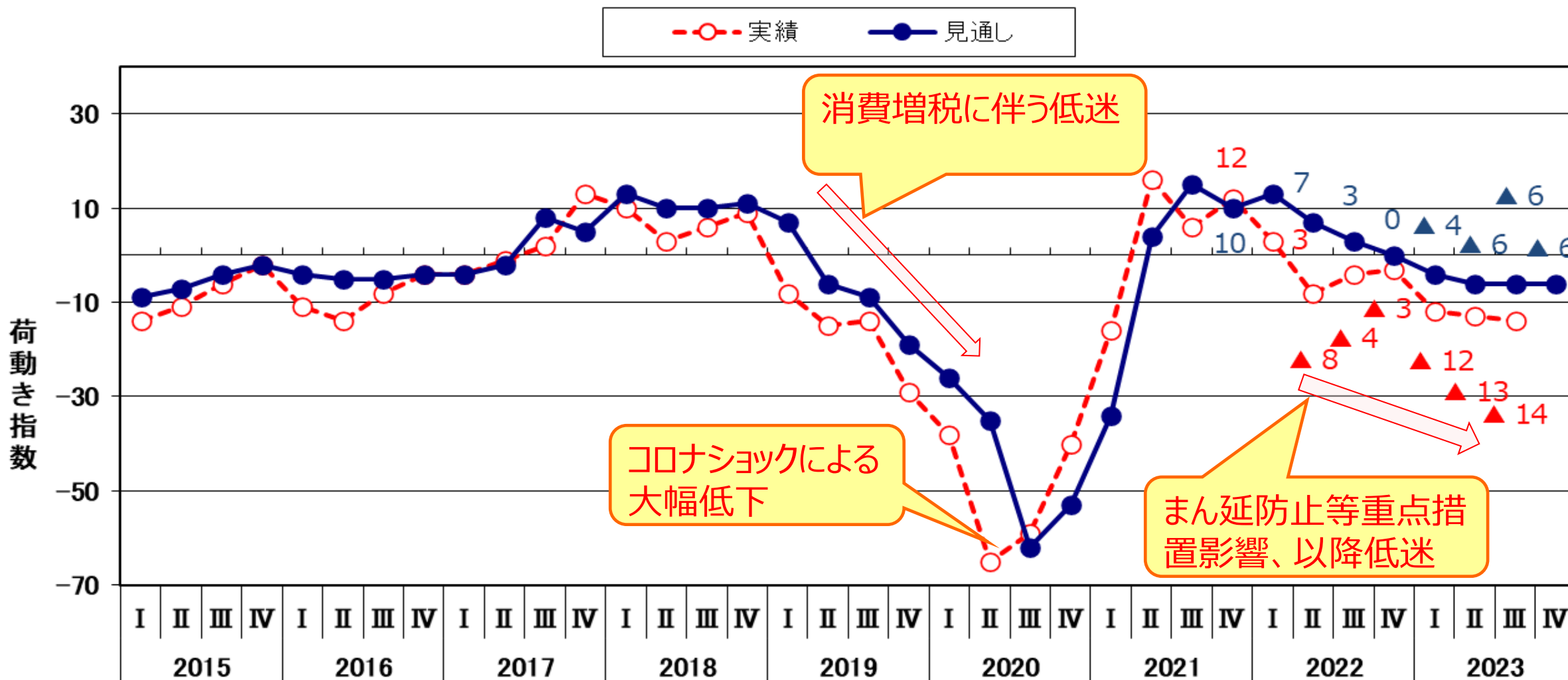
3. 平均使用年数



出所：(財)自動車検査登録情報協会

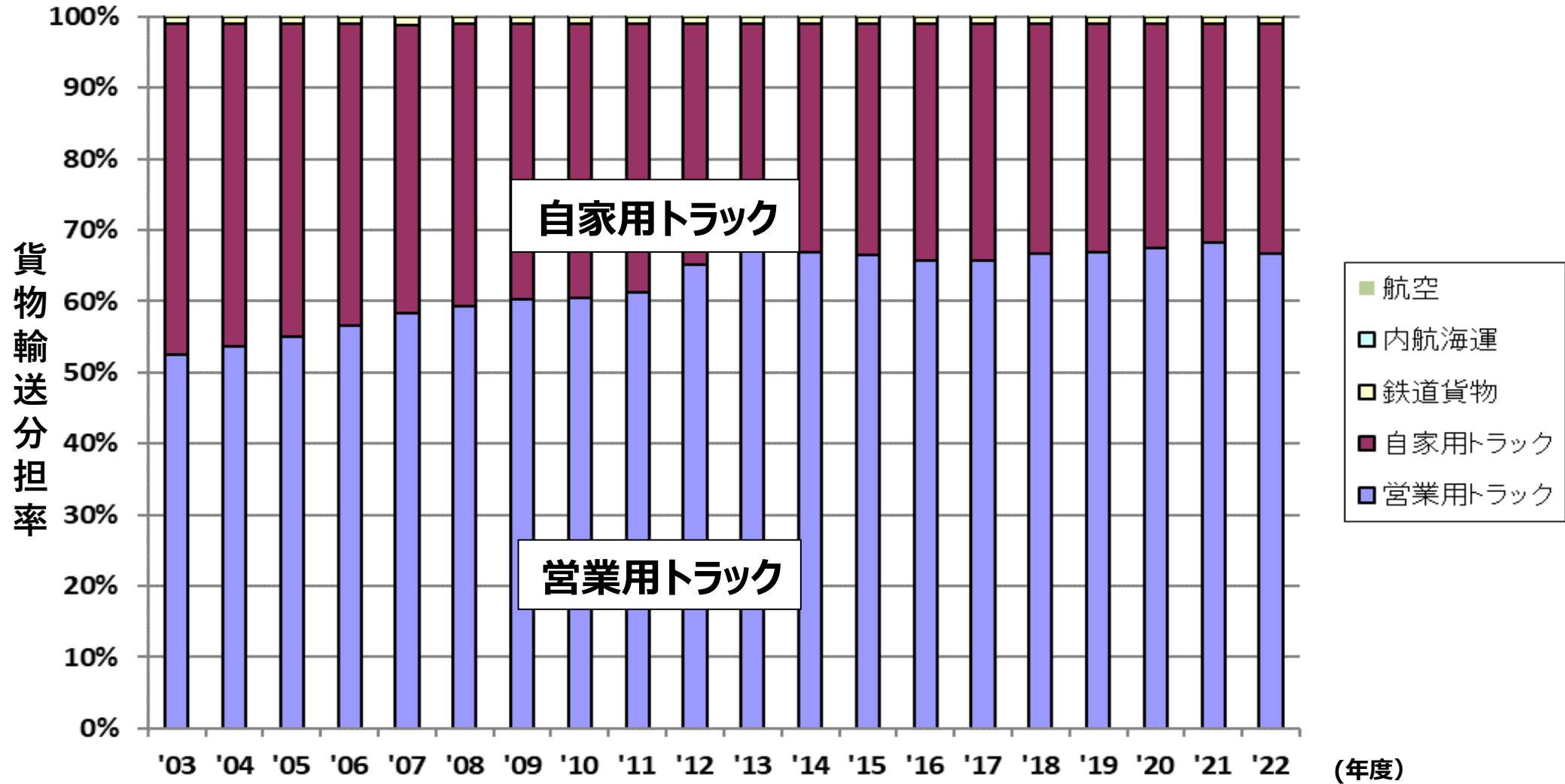
- 普通貨物は2013年以降上昇を続け、2023年3月末は過去最長の18.62年
- 大中型バスは21年度に20年を割り込んだが、2022年3月末は、過去最長の22.49年

4. 貨物輸送量実績



荷動き指数 = 増加の割合 - 減少の割合
 出所：日通総研短観

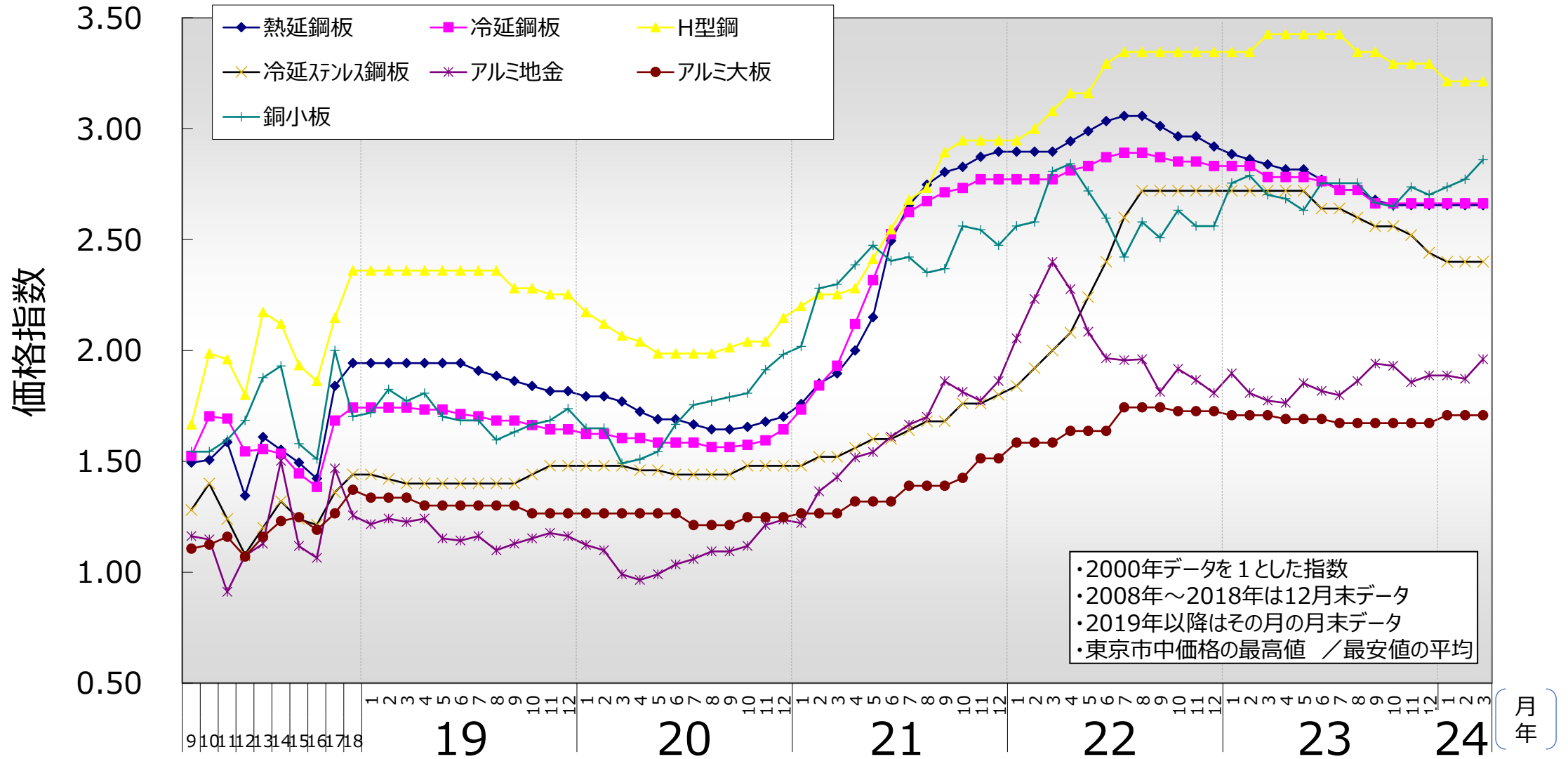
5. 貨物輸送分担率



トラックの分担率は99%で推移。営業用・個人用比率は約7：3

出所：国土交通省

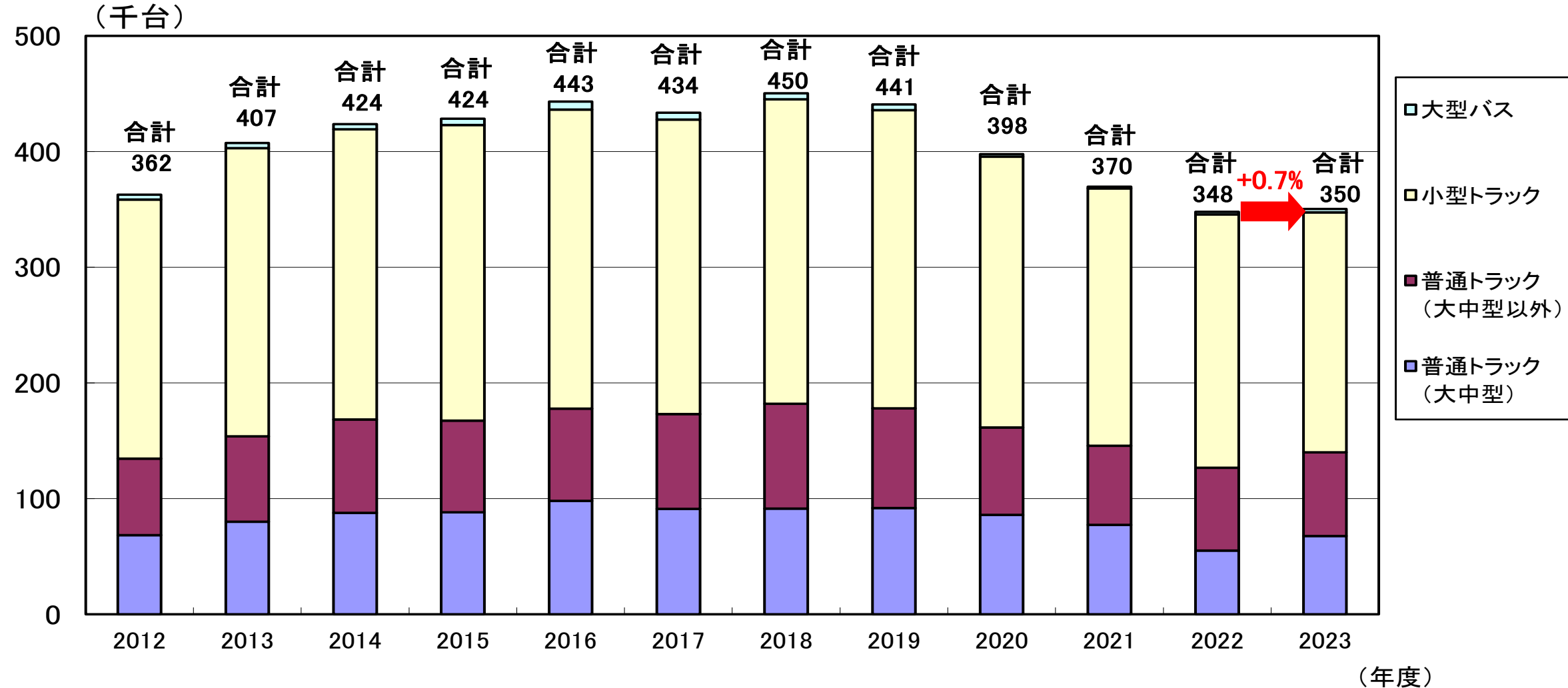
6. 原材料価格推移(東京市中価格)



出所：日刊鉄鋼新聞社

7.国内商用車販売台数推移

2023年度実績（貨物車+大型バス）



出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 一般社団法人 日本自動車工業会